

U-net通信 2012年11月 Vol.72

発行：地球環境・共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 http://www.unet.or.jp 編集人：大山正治／発行人：浜渉隆男



安全で美味しい食と農を繋ぎ、海・河川の環境改善を進める高知県

～EM活用で環境改善や農産物の生産・流通に成果～

取材／大山

高知県は南に太平洋、北は四国山地を抱え、四万十川に代表されるように清流が豊富、温暖で住みやすいが高齢化も進み人口減に悩む県。海・山・里など自然にも恵まれ、全国で1、2番と言われる日照時間や豊富な降雨量で農業の出荷額は多い。しかし全国共通の悩みでもあるが同県も後継者難という課題を抱えている。こうした中、EMを活用して環境改善や安心安全な農産物の生産と流通に活路を見出している人々が着実に増えている。今月号ではU一ネット四国地区世話人である山下修氏の案内でこうした人々のリーダーにお会いした活動の成果などを紹介する。

▶山下一穂氏の自宅で山下農園の園主であり土佐自然塾塾長でもある山下一穂氏(右)とU一ネット四国地区世話人の山下修氏。



▼土佐自然塾で座学を学ぶ校舎入口



▲しゃくなげ荘で上質のEMボカシを作る入所者のみなさん

既成概念を超える超自然農法 本山町 山下農園

現在、無農薬有機農業(無農薬と有機は同義。厳密には有機とは、無農薬無化学肥料でかつ国の認証を受けた圃場で栽培されたものを指すが、ここでは一般的な言い回しにした。)の新しいリーダーとして脚光を浴びている山下農園の山下一穂氏は農林水産省から支援を受けた有機農業参入促進協議会の会長だ。

同氏が唱える超自然農法とは、自分なりの手法で作る既存の自然農法を超す新たな自然農法。既存の自然農法による作物生産量は全体のわずか0.4パーセント、残りの99.6%の人たちにも安心安全な農作物を提供することにより日本の農業を元気にし、環境改善につながる自然農法だという。

若い頃、東京でプロのドラマとして活動して、30代で高知県に戻り進学塾の教師をしていて体調を崩し身体に良い食べ物に興味を示すようになり、40代で有機農業の道に入ったという異業種からの参入組だ。

有機農法は、手間がかかりすぎて虫食いだらけで売り物にならない、と言う声がある。しかし、山下一穂氏は「自然の力が弱いからだ」と言う。豊かな自然とは再生産力があるということ。生物が多様で土が持つ本来の力「自然力」が良い作物を作るという考え方だ。有機農法を現場で実証してきた理論家で、山下氏自身「超かんたん無農薬有機農業(出版元:南の風社)」等数冊の有機農法ハウツ

ウ本を執筆している。この中でEMを使った活性液、ダンゴ、ぼかし、生ごみ肥料も紹介されている。また、有機農法を全国に広めることや地域の活性化を目的として高知県と地元のNPO等で設立運営している「有機のがっこう土佐自然塾」の塾長として塾生の指導に当たってもいる。現在、卒業生は50人を超え、高知県内ばかりか他県で就農し有機農業の先達として活躍している。また、自身の農場で生産する無農薬有機栽培の農産物は200件を超える消費者・レストラン等に直接販売していて大好評、需要に生産が間に合わないほどだ。

山下氏は有名な音楽プロデューサー小林武史氏とイタリア料理店「アルケチャーノ」のシェフ奥田政行氏と共に呼びかけて発足した日本の安全で美味しい食(消費者)と農(生産者)を繋げる「フードリレーションネットワーク」の生産者側代表の一人でもある。

山下氏はインタビューの最後に、「ある学生の言葉だが、自然農法を教える他の学校から本当に有機農業をやりたいのなら、土佐自然塾へ行った方が良いと言われた」と。実績が評価されていることを物語る一番の褒め言葉だ。

人気のEMリサイクル肥料 本山町 しゃくなげ荘

本山町の山間地にあるしゃくなげ荘は地元の高知県嶺北地域だけでなく全国から注文が入るという人気のEMリサイクル肥料を生産している。このしゃくなげ荘は社会福祉法人本山育成会が運営す(次ページに続く)

あとから来る者のために
田畑を耕し
山川を
きれいで
あれば
あとから来る者のために
苦労をし
我慢をし
みんなぞれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ

あとから来る者のために
坂村真民

る知的障がい者支援施設で入所者は50名。ここで作るEM製品はボカシ、生ごみ肥料(ペレット、粉末)、活性液で、自家農園を始め有名な山下農園、土佐自然塾はもちろんのこと、地元の園芸、水稻、茶園農家の方々の安心安全な作物の生産に欠くことができない農業資材と認められ大好評だ。

トラック3台で毎日、肥料の原料になる生ごみは事業所23か所、家庭60世帯から約600kgを回収する。集めた生ごみを200kg用と500kg用2台の蘇生利器に投入して乾燥堆肥化する。この時点で生ごみは約3分の1になる。これにEM活性液を混ぜミニキサーにかけて粉碎し、樽で夏場は3~4ヶ月、冬は6ヶ月間熟成発酵させ、袋詰めされ良質な肥料となり市販される。この肥料の他に、この肥料を使ってしゃくなげ荘の自家農園で栽培される無農薬有機栽培の野菜、ボカシ、活性液なども地元本山村の農産物直売所やスーパー等量販店で販売している。電話注文やネット通販でも販売している。



▲本山村にある知的障がい者支援施設「しゃくなげ荘」

流通業で推進する地域の環境保全活動 土佐町 すえひろ屋

高知県嶺北地域の土佐町は四国のほぼ真ん中に位置する山間の清流と緑あふる環境であるが人口減に陥っている。この地でスーパーマーケット、レストラン、仕出し業などを経営するすえひろ屋はU-ネット四国地区会員である山下修氏が会長を務めている。“地産他商”を標榜し高知県の山の幸、海の幸で自慢の作物、商品を県内ばかりか全国に発信し、好評を得ている。このような地域の活性化と客に喜ばれるような新鮮で美味しい体に良い品々を全国に販売するネット通販に活路を見出し、都市など大消費地に恵まれない地域での流通業のあるべき姿を表現している。

また、すえひろ屋の末広ショッピングセンターでは、EMを商品である鮮魚・精肉・惣菜のみならず、廃油石鹼を作ったり、トイレ掃除や店内清掃に常時使用している。さらに、地域の花壇などの手入れ



もEM堆肥やばかしを使用して植栽し、いつまでも美しく咲き誇る花で、花のまちづくりによる環境美化にも貢献している。

◆末広ショッピングセンター社員によるEM廃油石鹼作り

水産加工場からの廃液で汚れた川と漁港の環境改善 土佐市宇佐町 宇佐町環境衛生推進協議会

土佐市宇佐町は、坂本竜馬の銅像で有名な桂浜から西へ海岸沿いに車で20分ほどのところに位置する。昔からカツオの一本釣り漁業で有名なところで、これを鰹節に加工する数多くの小規模な水産加工場がある。カツオを加工して出る煮汁など廃液が直接川に流されて川や漁港が汚され、住民は川から発生する悪臭と岸壁にべつり付いた黒い油に悩まされていた。地元の住民からの苦情に対応し土佐市が地元町内会や水産加工業者などと対策を協

議し、約10年前に宇佐町環境衛生推進協議会が発足した。この事務局長に元学校長で地元の名士である山本幸一郎氏が就任したこともあり、行政・町内会・加工業者らの協力も得られ、土佐市からの補助金も獲得した。そして、地元の人たちから「自分たちが汚したのだから、自分たちで解決しよう」との声が上がり、これらの環境改善に必要なEM活性液を作るために一般世帯は1世帯当たり年間400円、加工業者からは規模に応じて1~3万円の会費を徴収することになった。

現在、町内会連合会の1350世帯と9軒の水産加工業者の自宅や工場からEM活性液が流され、EM活性液が投入された学校ブルからも流されている。おかげで地元を流れる新町川は悪臭が消え川底の砂が見えるほどになり、河口岸壁の黒い油もすっかり消え、緑の海藻も繁茂するようになった。



▲宇佐町のEM活性液を培養する作業所で宇佐町環境衛生推進協議会事務局長の山本幸一郎氏(右)と山下修氏

行政を動かし河川敷に花を植えて環境整備 いの町 地域の環境を守るEcoクラブ

いの町は高知県の中央部に位置し土佐和紙で有名、一級河川の仁淀川が流れる風光明媚な場所である。これの支流宇治川の河川敷を環境整備して、花の名所にしようと活動するのが「地域の環境を守るEcoクラブ(山脇幸一会長)」。

昭和50年頃から都市化の進展に伴い家庭雑排水の流入等で宇治川の河川環境も悪化した。宇治川河川敷をどうにかしなければ平成13年に立ち上がったのが地域の環境を守るEcoクラブの皆さん。行政にばかり頼るのではなく、自分たちが自主的に活動して地域の環境を整備していくこと、そうすることにより行政が後押しをしてくれるという活動方針だ。活動資金は地域の皆さんが出してくれる資源ごみである空き缶の売却代金、EM堆肥で作った農産物の販売代金、町からの河川敷の草刈り受託代金などほとんど自分が働いて稼ぎ出す自主財源だ。

会長の山脇氏は元林野庁職員で全国各地の営林署で活躍してきた技師で、現役時代に今では世界自然遺産になっているが、当時はあまり脚光を浴びていなかった屋久島・白神山地・知床の保存運動をしてきた先見の明がある役人だった。こうした行政の表裏に通じている人がリーダーであるので、行政の協力を得るのが大変上手だ。

今年11月14日(日)に開催するEMダンゴ2万個を投入して宇治川の水質浄化とヘドロ除去を目的とする事業「どろ団子で河川を救う」に高知県の補助金を獲得した。地域の保育園・幼稚園・小中学校・高校を始め金融機関・行政など13団体が参加する。

▶地域の環境を守るEcoクラブが管理する環境農園で会長の山脇幸一氏(左)と山下修氏





第3回「海の日」 全国一斉EM団子・EM活性液投入集計【最終結果】

都道府県	団体数	人数(人)	団子(数)	活性液(L)	投入場所(主な海・河川等)
北海道	5	79	1,300	7,300	ブナの森公園池、しのつ湖、農村公園の池
青森	7	74	1,100	31,550	沖館川、西滴川、盛田川、十和田湖
秋田	4	210	1,000	9,700	大館樹海ドーム池、真人公園の沼
岩手	11	577	0	12,822	高松の池、見前川、大平川、安比川、馬渕川、兄川、赤川、松川、北上川、原敬記念館の池
山形	17	384	8,690	6,410	倉津川、中央花公園の池、中丸池、常海沢川、野田沼、最上徳内記念館の池、大谷地沼、鳥海月山両所宮鏡池、熊野大社鏡池、野呂川、元宿川、堀立川、関川
宮城	12	197	3,260	15,960	伊豆沼、荒川、照越川、高倉川、白石川、あぶくま川、中里川、天沼、高森東公園の沼
福島	37	409	830	33,455	せせらぎの郷公園の池、広瀬川、安達太良川、ふれあいの村民の森の池、南川、亀田川、高子沼
新潟	3	133	1,327	5,208	しらかば公園池、三条市八幡お堀、石川
長野	3	31	250	143	木崎湖、農具川
山梨	5	106	7,800	3,400	武田神社の堀、新名庄川、平等川、明見湖
群馬	1	10	0	4,000	菲川
栃木	5	74	2,020	406	百目鬼川、中堀川、こどもの国公園の池
茨城	9	356	15,840	57,994	北浦湖、恋瀬川、柏原池、菱木川、涸沼漁港、花賀川、相野谷川
千葉	5	272	9,207	22,298	神崎川、みたらし池、金山落川、汐入川、どんどん川、宇田川
埼玉	3	30	3,000	1,000	菖蒲川
東京	2	1,220	4,211	40,000	日本橋川
神奈川	7	313	5,000	5,400	目久尻川、境川、葛川、梅沢川、田代川、打越川、宮川、逗子海岸
静岡	3	93	4,500	3,540	野守の池、広岡川、浜名川
愛知	42	2,353	25,000	141,778	蟹川、内海川、浜田川、百々川、片名川、阿久比川、三河湾、伊勢湾、武豊堀川、明石公園の池、多屋海岸、半場川、占部川、新江川、羽久手川、新川、白鳥庭園池、徳川園池、小牧駅東公園池、稗田川、鹿乗川、長田川、薬師川、間瀬口川、鳥羽川、家下川、三河湖、巴川、早川、乙川、砂川、広田川、矢作古川、みどり川、二の沢川、寺部海岸、黄柳川、豊川、矢勝川、十ヶ川、矢作川、足助川、境川
三重	54	2,275	99,550	29,550	阿瀬知川、海蔵川、米洗川、白子魚港、鈴峰池、北谷池、賀崎海岸、津なぎさまち港、岩田川、堀川、こぶた川、長池、專修寺の池、磯崎漁港、白石湖、引本港、北川、源八川、駿河湾、松の川、十四川、宮川
岐阜	1	6	50	0	大垣市徳光の側溝
石川	1	50	1,500	0	徳光海岸
福井	2	2	0	1,500	美浜町・越前町の田んぼ周辺の川
滋賀	1	2	500	100	明川
京都	5	105	3,000	1,800	どんぶち池、どんぶち川、岩瀧海岸、鞍馬川、離れ湖
奈良	5	140	1,630	13,050	蛙股池、蘆川、木津川、布留川
大阪	11	718	31,004	4,700	石津川、神崎川、道頓堀川、安威川、淀川、長瀬川、天の川、恩知川
兵庫	9	139	4,300	1,097	屏風ヶ池、浅野漁港、炬口漁港、金口漁港、垂水海岸、市川、大野川、船場川、加古川、鹿島川、西汐入川、夢前川
和歌山	1	150	1,200	100	八王子池
岡山	5	52	0	9,000	小田川、瀬戸内海、前谷大池、船穂川、溜川、旭川、吉野川、吉井川、紫竹川
鳥取	1	5	200	300	日野川
島根	28	1,074	31,000	9,511	江の川、木戸川、前の川、安田川、社日公園の池、三瓶川、久手港、斐伊川、神門川、船川、高浜川、赤川、日御碭神社池、堀川、神西湖、古内藤川
山口	3	34	632	20,000	田万川、瀬戸内海、永安台溜池
香川	8	732	16,300	20,674	弘田川、久米池、相引川、岩黒港、瀬戸内海、綾川
愛媛	6	286	8,350	9,198	重信川、松前港、千丈川、黒瀬川、明神川、弓削町海岸
徳島	7	1,238	22,450	10,260	徳島城公園弁天池と心字池、新町川、新地川、新地川の池、長谷川、水尾川、堀川
高知	1	17	2,250	30	下井川
福岡	7	780	46,200	37,793	曲川、垣生池、遠賀川、矢部川、有明海、堂面川
佐賀	5	78	1,800	20	轟木川、青明寺竜眼池
長崎	9	1,127	10,780	6,405	鏡川、大村湾、有明海、橘湾、北浦海岸、茂木港、若奈川、本明川、中山川
大分	6	243	1,850	900	裏川、玖珠川、谷川、金道川
熊本	12	1,725	11,525	3,462	河内川、上永の内川、築後川、馬場川、地内川、上津浦川、棚宇土川、健軍川、下江津湖、友の川、大久保川、小内川
宮崎	7	379	6,079	8,380	上永ノ内川、綾町中央公園池、ふれあい館池、小丸川、石崎川、大淀川
鹿児島	17	3,692	53,270	7,676	広瀬川、川辺ダム、大谷川、塘之池、熊野神社池、塩入川、前郷川、後郷川、五位野川、清色川、船瀬川、須ノ場川、枕崎漁港、日の丸川、伊作川、添川、山田川、平佐川、高牧の池、馬込川、花渡川、白澤漁港
沖縄	8	460	105,730	27,018	比謝川、中城湾、普天間川、天願川
合計	401	22,430	555,485	624,888	※ 小さな河川、用・排水路の掲載省略
昨年度	360	15,158	512,776	720,029	



青森県のEMによる環境改善活動を支える二人

取材／村上

未来へ繋がる善循環の輪

青森県、ここにも古くからEMを知り、農業や環境改善活動に役立てようと活動するお二人が居る。青森市市議会議員里村誠悦氏とEM十和田会の代表工藤正義氏である。彼等は20年来の実績を持ったスペシャリストである。十和田湖などの事例は、皆様の聞き覚えのある事例であろう。また、両氏は様々な会の発足や研修、研究部門でも活躍してきた。勿論、楽しいことばかりではなく、「臭い」などの苦情が出たり、「効かない」と諦められてしまう事もあった。しかし、「そういった苦しいときこそがチャンスである」と両氏は語る。「臭い」と言われたらば、どう臭うのかを尋ね相手に考えてもらえるチャンスである。また、効かないと諦めてしまう方々の傾向をみていると、正しく理解していないとか、使い方がおかしいなどといった傾向がみられたそうだ。

そういった現場での実戦経験が両氏の現在の主な活動であり、後輩の育成にも繋がる一般向けの講習や学校向けの体験授業、会内の研修などの教育といった指導活動に強く反映されている。実際に現在、会内の研修において、活性液やボカシの作り方を基本に2種以上の事柄のプロフェッショナルに成れるよう指導をし、各地域へ技術が行渡るように配慮されている。

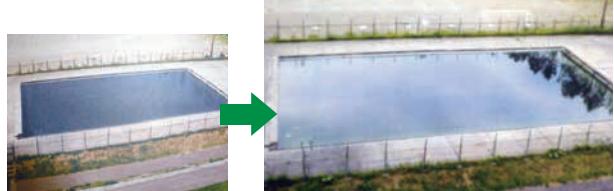
▶青森市市議里村誠悦氏(左)
EM十和田会代表工藤正義氏(右)



沖館川・西滝川への継続投入

県内13箇所の小中学校ではEM技術を取り入れた総合学習を行っており、主にプールへの活性液の投入や川での環境浄化活動、これは各地でも行われてはいるが、青森では小中高の一般生徒が海の日などに沖館川・西滝川にEM活性液、EM団子の一斉投入をしており、通年の行事となっている。生徒達は多くの

魚や水鳥が故郷の川に戻って来た事を皆で喜んでおり、これからも継続すると言い切っている。



▲5月、学校のプールにEM活性液を投入して約1ヶ月後、水面は澄み渡り鏡の様に周りの情景を映し出している。

EMで子供達に循環型農業の体験を

また、生ゴミの堆肥化や農業体験など、体験実習を兼ねた授業というなかでは、ひときわ面白い取り組みをされている紹介したいと思う。授業の中で近隣の福祉施設と共同でEMボルシを作り、それを使って生ゴミの堆肥化を行い、それを学校の畑で全校生徒がジャガイモの栽培を行った。出来たものを子供達自身が収穫し、住んでいる集落で子供達のグループを作り、「どう加工し提供するか」を話し合せ、出来上がったものを地元・道の駅にて販売をしている。子供達が身を持って体験し、安心安全の善循環を学ぶのである。またこの様な取組が一回や二回で終わることなく継続されているというのは驚きである。

先輩からのメッセージ

なかなかこの様に大きく出来るものではないが、こういった素晴らしい事例があるというのは他の地域にて、志を同じくしてこれから立ち上がる仲間達には、大きな励みとなる。そんな仲間達への両氏からのメッセージがある。はじめてやる人達には「しっかりと勉強してもらわないと、しっかりととした成果は得られない」また、いろんな事が出来るようになった人には「チャンとした成果が見える場所を作ること」そしてそれを「見せる事」、これが成功のために大切であると。

i n f o r m a t i o n

事務局からのお知らせ

■11月以降の主要行事のご案内

- 四国EMフェスタ in 土佐 2012
善循環の輪・土佐の集い 日程 11月24日(土) 会場 サンピアセリーズ(高知市)
- 比嘉照夫教授特別講演会 in 青森 日程 12月8日(土) 会場 青森県観光物産館「アスピーム」(青森市)

■U-net通信と善循環の輪通信を活動にお役立て下さい！

行政関係者や地域住民にU-ネットの環境改善活動をご理解いただく一助になれば幸いです。
ご連絡いただけましたら、通信のバックナンバーをお送りいたします。